



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって事前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

ローズンゲン『日々の聖句』2023年1月の、み言葉として選ばれたのは、創世記、天地創造物語の最後の言葉である。

ここで、「それはとても良かった」と記されていることは、きつとドイツ語聖書から直接、編者が訳したものだろう。ちなみに新共同訳聖書や新しい協会訳では、「極めて良かった」とあり、新改訳では「非常に良かった」としている。神の創造の業は、「とても」良いのか、「極めて」良いのか、それとも「非常に」良いのか。それについて、そんなにこだわることは、ないだろうと私は思う。

もちろん、この創造の業を巡っては進化論か創造論かと、キリスト教界では議論が喧しい。アメリカなどでは、進化論を学校で教えるべきかどうか、州によっては、今も裁判が争われ、激しい論争がおこっているという。彼の国において、それは、ただ単にキリスト教保守派とリベラル派の対立としてのみならず、妊娠

中絶、LGBT、移民問題などと共に、大統領選挙の大きな争点にもされているのだ。

何事も、曖昧で中庸であることを良しとする私たちが日本人にとつては、プラカードを掲げ、激しく罵り合う両陣営の映像を見て、彼等の文化の差異に驚くことはあるが、しかし、いずれ、私たちの国にも影響してく

瞑想

神は、お造りになったものすべてを見られた。見よ、それはとても良かった。

その考えも一致することは、残念ながら稀である。聖書の翻訳一つとっても、そこには決して譲ることのできない自分の正しさがあるのだらう。確かにそれは多様な豊かさにもなるだらうが、同時にそれは先鋭化し、

過激なものとなってしまう。しかし私は、今回、その違いではなく、その共通するところに注目してみたいのだ。

実は、この短いフレーズの中で、どの聖書訳にも、共通する言葉がある。それは「見よ」という言葉である。天地創造の業は、初めから、創造主なる神がその

主幹牧師 榎本 恵

創世記1:31

主語となって書かれている。「神は創造し」、「神は言い」、「神は分け」そして「神はそれを見て良しとする」ところが、この創造の業の完成と共に、「見よ」と突然、神は私たちをその創造の業の前に引きずり出すのだ。「引きずり出す」という言葉が強過ぎるなら、「立たせる」と言ってもいいだらう。いずれにせよ、こ

の天地創造が、神話であらうと、科学であらうと、私たちは、その前に、傍観者としてではなく、当事者として立たなければならぬ。それがこの「見よ」という言葉の意味なのだ。そしてそれは、はじまりの時だけではなく、終わりの時もそうなのである。
ヨハネ黙示録もまた、「私は見た」という印象的な言葉と共に、数々の世の終わりの光景が預言される。
しかし、その最後で、ヨハネは「見よ、わたしはすぐに来る。わたしは報いを携えて来て、それぞれの行いに応じて報いる。」(黙示録22:12)と主の言葉を書き記すのだ。
世の終わり、そして再臨の時もまた、決して他人事ではない。それは始まりの時同様、私たち自身のことなのだ。
友よ、天地創造も終末も、再臨も、その解釈は千差万別、議論の分かれるところだ。けれども、この年の初め、私たちはその言葉に感わされることなく、自分自身の目でそれを見よう。

神さまの憐れみ深さにただ感謝がありアドベントを過ごしています。今までにない安息の中に入れて頂いています。

吉田すみゑ(札幌・リトリート参加)



第2回リトリート アシュラムを感謝して

ジエームズ・サック
(二日目 講師)

ありがとうございます！アシュラム・セ
ンターで、先生とご家族が近江八幡でどのよ
うな働きをしているの
かを見ることができた
のは、私にとつてとて
も意味深いことでした。
Wow、とても感動
しました。

講演をする機会にも
恵まれ、感謝していま
す。少人数の参加者と
一緒に何が出来るかを
知る機会でした。人数
が少ないからこそ、つ
ながりが実感出来ま
すね。
私が感銘を受けた一
つは、私自身だけでな
く、みなさんがゲスト
を迎える際のホスピタ
リティと言うことで
す。つまり沈黙と祈りの
中で神と出会うという
ことを、私はとても強
く感じました。この
言葉は、砂漠を意味
するのだと思いま
す。



リトリートアシュラム始まり前夜。キャ
ロル・サック姉、ジエームズ・サック師、
後列左 和田兄、吉田姉、るつこ姉、恵師。

とにかく、アシュ
ラム・センターの平
和と静寂を実感しま
したよ。そのような
体験をさせてくれた
ことに感謝します。
また、美味しい食
事やご自宅の見学、

個性的な方々との交流
など、私たちを楽しま
せて下さいました。

今回、空先生に会え
なかつたのが残念でし
た。ご家族の皆様、康
子さん、光太さん、ル
ツコさんにもよろしく
お伝え下さい。ちゃん
と「さようなら」と言
えませんでした。ご家
族一人ひとりが、それ
ぞれの形で神様に才能
を授かっていると具体
的に感じました。

ただ一つ心配なの
は、恵先生はお忙し
ぎるのではないかと
いうことです。必要な
息が取れるように祈り
ます。

講演でお話したよう
に、人のために奉仕す
るためには健康である
ことが必要なのです。
今日も神様の祝福を
体験するように。
(ルーテル学院
大学教授)

(牧会カウンセラー)
スピリチュアル・ケア

リトリートアシュラムに Zoom参加も感謝

平田 葉子

今回は、コロナ感染
拡大のために会場に行
けませんでしたが、大
切なお話やワークショ
ップの数々参加させて
いただき、楽しませて
いただきました。

(残念ながら、水曜は自
分の教会の集会があり、
中村穰先生ご担当のと
ころが出られませんで
したが)

今回は大胆な企画、
すごいなあ、と感嘆し
ました。そして、もう一
度自分の経験してきた
ことを振り返り、意義
を考える機会になりま
した。

ラビリンスは、ICU
の大きな教会堂で20年
以上毎年キリスト教週
間で実施され、勤務し
ていた時は毎年味わ
いました。

不思議な静まりを感

じてきましたし、多く
の学生、教職員が楽し
みにしていました。今
後はぜひ、そちらに行
きたいと思います。

また、この三年ほど
マインドフル練習を毎
日、朝15分間Zoom
で仲間と体験していま
す。

スピリチュアル系でな
く、音読療法協会、と
いうアートセラピー系
のグループ主催のもので
すが、かなりマンネリ
化してきていたので、初
めての方と一緒にするこ
とで、改めてその意義
に気づくことができました
ように思います。

私にとつては、最初
にマインドフル瞑想をし
た時の鮮烈な経験とい
う、過去の強烈な良い
経験にしがみつくこと
を「手放す」ことの必
要性に気付かされたこ

とでした。

また何より神学的にどう位置づけるか課題でしたが、サツク先生、スコット先生の示して良いヒントをいただきました。

マインドフルとは、今、ここに生きることであり、それは聖霊と共に生きることであり、とです。

そのために、色々思い込みとか、悪い意味の執着という集中力、過去や未来に縛り付ける思考を手放す訓練が必要なのだと思います。

空さんの講演も、みごとにスピリチュアルに生きるとはどういうことか、語ってくれていて説得されました。

神様はここにいて、またそれは自分が自分になっていくこと、自分の人生を生きたことだ、というメッセージを受取りました。

キャロル先生のワーク



4日目、マーレースコット司祭の時。ラビリンスを終わってから歩き始めました。紅葉達に見守られ…。



3日目中村穰師もまた、心に響く出会いの時を。

ショップで、言葉以外の音楽の力を発見させられ、空さんの講演で、同時に「言葉」の力、またその力にかけようとしている心意気に打たれました。

早朝祈禱会は、週三日、15分だけですが、自分の教会で同じ時間帯に行っているので出られませんでした。今日金曜日はやっていないので、参加させていたいただきました。

いづれにしても、様々な体験が詰まったチャレンジングな企画、感謝でした。

次回こそ、ぜひアッシュラムセンターに宿泊で

参加したいです。また、光太さんでしようか、Zoomなど機材のお世話のご奉仕してくださった方にも本当に感謝です。

(日基西国分寺 教会牧師)

東海教会

一日アッシュラムに参加して

和田 温子
10月29日(土)「第2回東海教会一日アッシュラムの集い」が開催された。

昨年引き続きアッシュラムセンター主幹牧師の榎本恵先生をお迎えして東海、水戸、日立の教会から20名の参加があった。

オリエンテーションで講師の榎本先生からアッシュラムの目的と意味について指導を受ける。そして、静聴の時。時間は1時間。今回の主

題聖句は「空の鳥をよく見なさい」(マタイによる福音書6:26)今まで何度も読んだこの箇所。じっくり読むのだから、何かを感じなくては、きつと何か神様が語りかけてくれるはず！繰り返し箇所を読む。

必死の私の頭が疲れてきたころ、「では、時間がきたので終わりにしましょう」との司会の言葉と同時にどこからともなく「あー、いい気持ちだった！」と思

切り伸びをしながらあくびをしている男性がいた。「静聴の時の直後に「一体誰!」と思ったらなんと、アッシュラムリーダーの榎本先生だった!

本当をいうと次々に浮かび上がってくる邪念(胃がもたれてるなとか、あの方は一体お幾つなのだろうか等)そして容赦なく押し寄せってくる睡魔と戦いながら、必死に聖書を読んでいた私はなんだか拍子抜けしてしまっ

ファミリーに分かれて分かち合いの時を持つ。何人かは昨年と同じメンバーだったので、この一年の私の祈りの課題が今回も引き続き同じ課題となったことが明白となっていました。

日常の出来事に心奪われ、祈りが二の次になっているからだな、と反省しつつも、きつとこの一年も同じように過ごす自分が見えてきてな

んだか少し疲れてしまった。

続いて榎本先生の説教。空の鳥、野の花、美しいものに憧れる心を大切にしてく。今自分の無力さに苛まれても、そのダメの奥にある言葉にならない思いや、隠れたことをみてくれる方がいることをおぼえること…

もやもやして疲れて

第二回 東海教会

一日アシラムの恵み

小林 京子

10月29日(土) 第二回東海教会一日アシラムに、昨年に続き、東海バプテスト教会の他に近隣教会の水戸バプテスト教会と日立バプテスト教会から総勢22名が集い、榎本恵先生をお迎えして開催されました。

主題「空の鳥をよく見なさい。」 主題聖句

いた頭が楽になった。自分にはダメだなーと感じていることも、何もかも神様はご存知。必死にならなくても、落ち込まなくても大丈夫なんだ、と思えた。と同時に榎本先生の「気持ちよかった」というあの光景にも合点がいった。この一年、明るく気持ちよく祈ってゆきたい。

(東海バプテスト教会)

の言葉が引用された。「我々は空の鳥や野の花から沈黙を学ぼう」沈黙とは神の声を聞くことという言葉が印象に残りました。今回は、マタイ6章から静聴の時を持ち、じっくりと聖書に向き合い、たくさんのお言葉が心の中に廻り与えられました。普段いかに聖書をさらりと読んでいるか反省させられました。「あなたがたの父は、願う前からあなたがたに必要なものをご存じなのだ。だからこう祈りなさい。」という主の祈りに心が動かされました。

の赦し、誘惑等、私たちが守られています。世の中を見た時、基本的な生活に困難を覚えつつ苦しみの中にいる人々が何と多くいることでしょうか。他の人々のことに思いを巡らし、祈りを熱心にしていきたいと思われました。そして、恵みの分かち合いは、3組のファミリーに分かれて、私は家長をさせていただき、それぞれの祈りの課題を共有しました。

アシラムによってスタートし、心の整理をしながら、この一年どのような歩みが待っているのかワクワクする思いです。イエス様は、いつの時代も変わらず、空の鳥を野の花をよく見なさいと言っていると先生は言われました。思い悩むことなく、神様とのデボーションの中で、訪ね求めて御声を聞いていきたいと思えます。

(水戸バプテスト教会)

「四半世紀続きし教会アシラムよ「上尾」の街の心とならん」

小林佳子姉(歌集「であい」第三集より)

はマタイによる福音書6章26節からメッセジをいただきました。昨年の開催から一年間アシラム・ファミリーを覚えて、それぞれの祈りの課題を折り、そして祈られている恵みを感じながら継続できたことに感謝しています。

オリエンテーションの中で、キルケゴールの言葉が引用された。「我々は空の鳥や野の花から沈黙を学ぼう」沈黙とは神の声を聞くことという言葉が印象に残りました。今回は、マタイ6章から静聴の時を持ち、じっくりと聖書に向き合い、たくさんのお言葉が心の中に廻り与えられました。普段いかに聖書をさらりと読んでいるか反省させられました。「あなたがたの父は、願う前からあなたがたに必要なものをご存じなのだ。だからこう祈りなさい。」という主の祈りに心が動かされました。



佳子姉の水戸の地での教会アシラムを！の祈り、聞かれました。

唄野隆師 哀悼の辞 感謝をこめて・・・ 11月29日ご召天(91歳)

イエスは主なり

偉大な先達の天への凱旋の報に接し、心から哀悼の意を表します。わずか数ヶ月前、コロナを克服した隆先生と共に、大阪聖書教室で賛美し、み言葉に聞き、分かち合いさせていただいたのに……。突然の訃報に言葉がありません。

しかし、隆先生は、きっと天の御国で、主と顔と顔を合わせ、「ほー、あなたがイエス様でしたか」と目を細め、笑っておられることでしょう。

アドベント、待降節は、主のご降誕を待ち望むだけのものではありません。天に挙げられた主が、再び来たもう日を待ち望む、その時であるのです。私たちもいずれは、そちらへ行くことでしょう。

どうか、その日まで地上に残された私たちをその満面の笑顔で見守り続けてくださいますように。ご遺族、教会員の皆様、主の豊かな慰めと憐れみがありますように。

アシュラムセンター主幹牧師 榎本 恵



大阪聖書教室にて。隆、絢子御夫妻と。



↑2018年年頭アシュラムにて御夫妻で講師を担って下さった。政一父の書と共に。



↑妹ご夫妻、角野ファミリー、和子母に囲まれ。

御言に仕えた人々 ルカ1:2 榎本 保郎

ルカは使徒達のことを「わたしたちの間に成就された出来事を、最初から親しく見た人々であって、御言に仕えた人々」と紹介している。

イエス・キリストを「親しく見た人々」は大勢いた事であろう。しかし「御言に仕えた人々」は少なかった。今日に於いても、イエス・キリストの教えを知ろうとする人は多い。けれども「御言に仕える人々」は少ない。あなたはどうか。

主が求めて居られるのは、理解者ではない。服従する者である。主はマタイに向かって云われた「私に従って来なさい」と。

「仕える」とは従う事である。黙々と従う事である。従うものとなるためには、自分の今いる処から立ちあがらねばならない。坐ったままで従う事は出来ない。主の召命に対してマタイは「立ちあがってイエスに従った」と証している。

ダビデは、レビ人のつとめを告げて「朝ごとに立つて主に感謝し、さんびし」とのべている。私はこの「立つて」と云う言葉に非常に感じた事がある。

自分は主に感謝し、賛美している。しかしその姿勢はどうか、立っているか、坐ったままではないか。

御言に仕えた人とは、いつも自分の場所から立つて御言に従った人である。これが私達の生き方である。(1962.10発行「ガリラヤ」聖句短言より)

「出会いの神秘」一粒社
50冊の「ゲスト・ブック」を
紐として

世代を越えて

引き継がれる信仰

榎本先生の影響は、次の世代にも及びました。

1981年の春、二人の青年が、大学入学と同時に、大浜の教会に集うようになり、間もなく二人は、イエスさまを信じるようになり、洗礼を受けました。その二人がともに、榎本先生の著書『ちいろば』を読んで感動し、献身し、教職

者になりました。

一人は、今の私たちの教会の牧師、中谷建晴先生で、もう一人は、改革派神学校教授の袴田康裕先生です。榎本先生の影響は、父の世代、私たちの世代、さらに次の世代にまで及んでいます。

ただ、榎本先生について、先生ご自身の『ちいろば』のほか多くの書物がありますし、また三浦綾子著の『ちいろば先生物語』などの書物が出ていますので、ここではこれだけに留めておきます。

唄野隆・絢子 共著 (終)

あとがき

新しい年が始まった。今年は、私たちにとってどんな年となるだろうか。

コロナのために、3年途絶えていた、ブラジルへの伝道旅行を2月後半より行う予定だ。また台湾のアシュラムへも2年ぶりに行く。

秋には国際正義平和アシュラムが、新潟で行われる。行事日程が目白押しだ。

しかし、何よりも大事なことは、しっかりと根を張る祈りの時である。

落ち着いて、静かにすること。アシュラム運動の肝要はここにある。早天祈禱会、友と祈る朝のひと時こそ、何よりも大事な、私たちの1年生を生きる力となるのだ。

どうか、共にこの年も祈りを合わせよう。(恵)

中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。
直前の変更の場合あり!

1月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】
0748-33-4030
アシュラムセンター

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 3(火) | Zoom聖書教室 (AM10:30、PM7:30) |
| 6(金) | 阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00) |
| 9(月) | 福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30) |
| 13(金) | センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00) |
| 14(土) | 聖書と学ぶ会 (ZOOM PM8:00) |
| 15(日) | ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝 (PM5:00) |
| 16(月) | 箴言に学ぶ会 (ZOOM AM10:30、PM7:30) |
| 17(火) | 大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30) |
| 18(水) | みんなのカフェちいろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30) |
| 23(月) | 静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30) |
| 24(火) | 東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30) |
| 24(火) | しみじみする会 (桜美林大学荊冠堂チャペル PM2:30) |
| 25(水) | 美しい足の会 (Zoom AM10:30、PM7:30) |
| 2/3(金) | 阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00) |

1月のアシュラムなど

第48回 年頭アシュラム

主題：エル・ロイ (私を顧みられる神) 創 16 : 13
会場：琵琶湖コンファレンスセンター

奉仕者 榎本 恵師 (アシュラムセンター主幹牧師)
齋藤 篤師 (日基仙台宮城野教会牧師・
アシュラムセンター常任運営委員)

1/19(水)
~
21(土)



ご参加お待ちしております!

2月のアシュラム予定

| | |
|---------------|-----------|
| 2月13(月)~15(水) | 台湾愛修会 |
| 2月19(日)~21(火) | ブラジルアシュラム |

冊子「アンナとシメオン」
第2号が完成、感謝いたします。アンナ祈りの家、シメオン黙想の家がこれからも主によって用いられますように、引き続き祈りお支え下さいますよう、よろしくお願い致します。

ご入り用の方は、ご一報下さい。ご感想も是非!



☆ Zoom 聖書教室 4種 (2月~7月)
申し込み受け付け中! 詳しくはHPで。

みことば

ノースカロライナ大学院生
Zoom聖書と学ぶ会
榎本 空

胎児であったわたしをあなたの目は見ておられた。わたしの日々はあなたの書にすべて記されている。まだその1日も造られないうちから。
詩篇139篇16節

先日、長女の幼稚園では、フロアリズムという体操の授業に親が招待された。

張り切って小学校の体育館まで向かった私であるが、時間になっても誰も現れない。もしやと思って、もう一度場所を確認してみると、島の外れにあるもう一つの体育館が集合場所になっていた。

慌てて車を飛ばし、そこに着いた時にはもうフロアリズムが始まっていて、いつまでも現れない私を今か、今かと待っていた娘は、少し顔をこわばらせていた。

きっと、私が遅れた10分ほどの時間を、彼女は永遠のように長く感じたに違いない。大変、申し訳ないことをした。

もちろん、そんな永遠のような孤独な時間を、私たちは皆、経験したことがある。顔をこわばらせ、手を握り締め、不安をどうにか押し殺したことのない人など、ないだろう。

どうしたら、そんな瞬間に、わたしたちを見つめるもう一つの目があることを、確信できるのだろうか。どうしたら、私たちの日々が、これまでも、これからもすでに記されていることに信頼をおけるのだろうか。まったく、生きるということは難しい。



リトリート2日目。キャロル・サクク師ハープに心癒された皆様と。この後、出番!講演の機会を感謝致します。ぜひご感想を!Zoomの方も!

☆クリスマスの本当の意味の喜びが皆さんと共に!

インマヌエル「神はわれらと共にいます」

サクク・ジム&キャロル



☆一年間、共に祈り合わせて下さりありがとうございました。(入院中の和子母、年内に退院予定。感謝です)
年頭アシュラム待望祈禱、よろしくお願ひ致します。皆様、主によってよい新年を!